

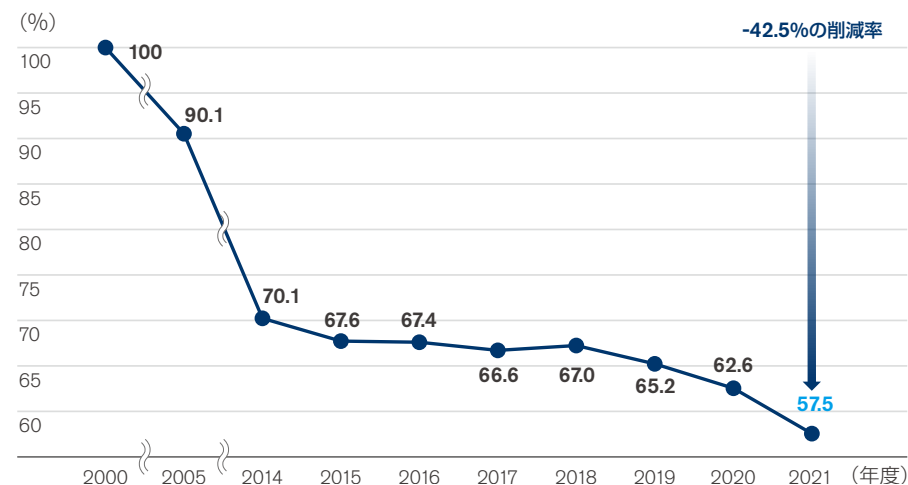
目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境データ

- 気候変動(製品) 188
- 気候変動(企業活動) 192
- 大気品質 198
- 資源依存(再利用) 200
- 資源依存(拠点の廃棄物) 201
- 水資源の管理 203
- 環境課題を踏まえた事業基盤の強化 206
- マテリアルバランス 208
- 環境保全コスト 209

気候変動(製品)

新車からのCO₂排出量削減率(グローバル)*

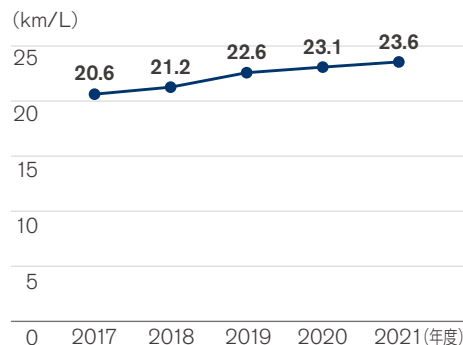


2021年度、日産の主要な市場である日本、米国、欧州、中国におけるCO₂排出量は企業平均燃費ベースで2000年度に比べ42.5%改善しました。特に中国や欧州の新型車の投入による燃費の向上により、2020年度に比べて改善しました。

* CO₂削減率は社内規定の方法で算出しています

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

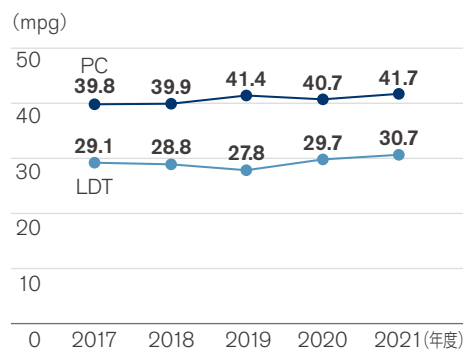
日本における企業平均燃費(CAFE、JC08モード)



2021年度の日本における企業平均燃費は、23.6km/Lとなりました。これは、「ノート」「ノート オーラ」などのe-POWER車の販売割合の増加が貢献しており、2020年度に比べて2%の改善を達成しました。

* 社内で算出した暫定値を使用しており、一部車種にWLTCモードの燃費値を含みます

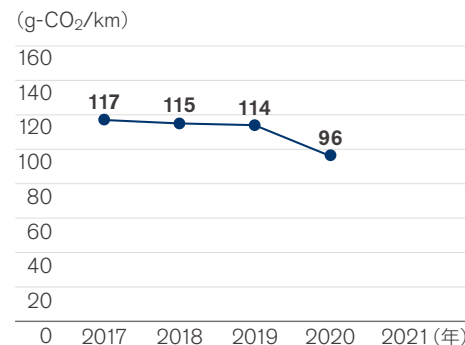
米国における企業平均燃費(CAFE)



2021年度の米国における乗用車の企業平均燃費は、新型車投入およびモデルミックス改善により41.7mpgとなり、2020年度に比べて2.4%向上しました。小型トラックのセグメントにおいては新型車の投入により、企業平均燃費

は29.7mpgから30.7mpgに3.4%向上しました。

欧州における車両平均CO₂排出量



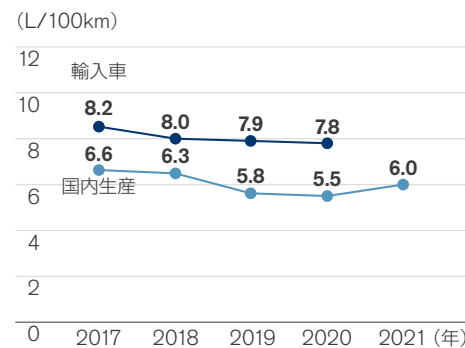
2021年の欧州における車両平均CO₂排出量は、NEDCからWLTPへの評価モードの変更により悪化となる見込みです。

一方で、2020年からの欧州CO₂規制へは、個社とアライアンスによるプールとともに規制を達成しています。

* データの再集計により、2020年の値を更新しました

* 2021年の公式値はまだ公開されていないため、グラフデータはありません

中国における企業平均燃料消費量



2021年の中国における企業平均燃料消費量は、NEDCからWLTPへの評価モードの変更により、国内生産分の燃費は9%悪化となりましたが、同一のNEDCモードにおいてはe-POWER車の市場投入により約8%燃費向上しました。

* 2021年は輸入車の販売台数がゼロのため、グラフデータはありません

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

売上高、グローバル販売台数および生産台数データ

	(億円)	
	2020年度	2021年度
売上高*1	91,087	97,433

	(千台)	
	2020年度	2021年度
グローバル販売台数*2	4,052	3,876
日本	478	428
北米	1,213	1,183
欧州	391	340
アジア	1,649	1,572
その他	320	353

	(千台)	
	2020年度	2021年度
グローバル生産台数*2	3,634	3,404
日本	517	446
北米*3	953	930
欧州*4	336	276
アジア*5	1,737	1,646
その他*6	91	105

*1 中国合弁会社比例連結ベース

*2 グローバル販売台数およびグローバル生産台数の中国・台湾については、1-12月ベースの数字

*3 米国、メキシコの生産台数

*4 英国、スペイン、ロシア、フランスの生産台数

*5 台湾、タイ、中国、インドの生産台数

*6 南アフリカ、ブラジル、エジプト、アルゼンチンの生産台数

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

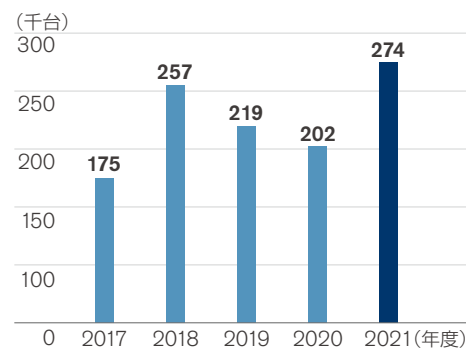
パワートレイン比率(出荷台数ベース)

	単位	ガソリン車	ディーゼル車	e-POWER車	電気自動車	ハイブリッド車	天然ガス車
日本	%	31.9	1.6	35.7	3.1	27.6	0.1
北米	%	98.3	0.2	0.0	1.4	0.0	0.0
欧州	%	53.9	7.6	0.0	11.5	27.0	0.0
その他	%	90.9	7.1	0.7	0.9	0.5	0.0
グローバル	%	82.3	4.4	4.9	2.3	6.2	0.0

お客さまの電動化車両への関心が高い日本では、e-POWER車が国内全体的出荷台数の35.7%を占めています。ここに電気自動車とハイブリッド車を合わせた電動車両全体では66.4%とほぼ2/3に達し、2022年度に販売を開始した新型軽EV「日産サクラ」が好調なことから、この傾向はこの後も続く予想されます。これは環境価値を追求し、よりサステナブルな商品群が日産ビジネスのコアになりつつある状況ととらえています。

EV

100%EVおよび「e-POWER」販売台数*



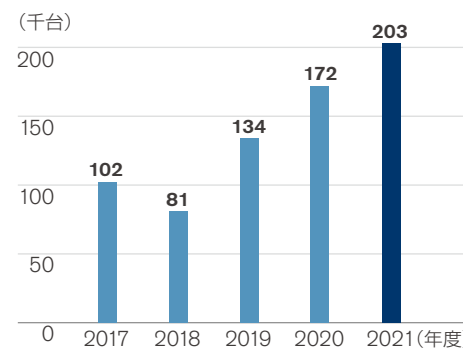
2021年度のe-POWERは新型ノートの好調な販売と、中国に投入した新型シルフィの効果で台数が増加しました。

* 中国合弁会社による販売台数を含む

* 中国合弁会社の現地ブランド販売台数の再集計実施により、過去の数字に変更が生じております

ハイブリッド車

ハイブリッド車台数(出荷台数ベース)



2021年は欧州に投入した新型キャッシュカイにより台数が増加しました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

気候変動(企業活動)

エネルギー投入量

(年度)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
合計	MWh	9,532,840	9,252,737	8,313,893	7,655,514	7,495,492
地域別						
日本	MWh	4,084,912	3,700,532	3,438,939	3,015,419	3,149,380
北米	MWh	2,452,299	2,570,438	2,180,450	1,909,902	1,982,066
欧州	MWh	1,126,186	1,048,201	913,521	888,089	650,003
その他	MWh	1,869,443	1,933,566	1,780,983	1,842,105	1,714,043
エネルギー源別						
一次エネルギー						
天然ガス	MWh	3,701,640	3,579,998	3,079,723	3,089,803	2,907,420
LPG	MWh	179,945	191,405	175,559	144,478	145,717
コークス	MWh	218,618	200,527	154,961	100,144	112,154
灯油	MWh	147,522	113,200	90,078	69,618	69,868
ガソリン	MWh	299,000	259,045	243,166	184,021	177,147
軽油	MWh	48,259	53,074	23,246	25,315	23,800
重油	MWh	27,652	15,995	16,303	22,816	22,383

(年度)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
敷地外						
電力(購入)	MWh	4,755,897	4,711,467	4,384,282	3,851,011	3,859,586
うち再生可能エネルギー*1	MWh	133,212	135,574	123,225	181,815	229,754
冷水	MWh	6,661	7,487	5,086	3,530	3,598
蒸気	MWh	128,038	102,324	125,662	96,960	114,506
敷地内						
電力(自家発電)	MWh	14,609	13,214	43,668	65,183	59,313
うち再生可能エネルギー*2	MWh	14,609	13,214	43,668	65,183	59,313
再生可能エネルギー総量	MWh	147,821	148,788	166,893	246,998	289,067

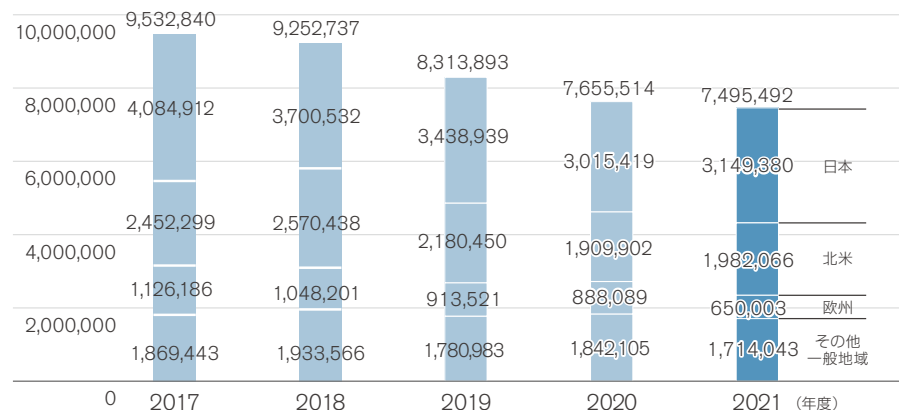
*1 日産が購入した電力における再生可能エネルギー量

*2 日産が拠点内で発電し自社で消費した再生可能エネルギー量

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

エネルギー投入量推移

(MWh)



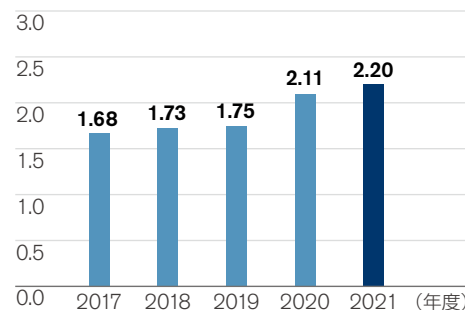
2021年度の日産のグローバル企業活動における総エネルギー使用量は7,495千MWhとなり、2020年度に比べ、2%の減少になりました。各拠点の生産台数の減少が主な要因です。生産過程におけるエネルギー使用量は6,875千MWh★でした。

★を付している開示情報について、KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

[>>> P078](#)

エネルギー消費量(生産台数当たり)

(MWh/台)



2021年度の生産台数当たりのエネルギー消費量は2.20MWhとなり、2020年度より4.5%増加しました。

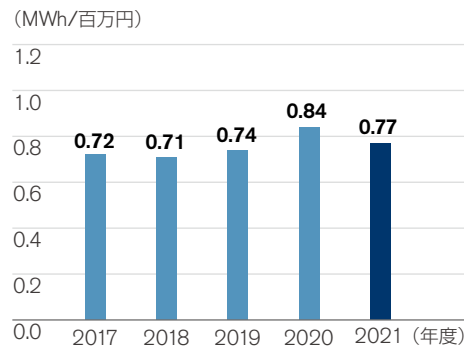
日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、数値が高くなる場合があります。

(年度)

	単位	2021
日本	MWh/台	7.06
北米	MWh/台	2.13
欧州	MWh/台	2.36
その他	MWh/台	0.98

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

エネルギー消費量(売上高当たり)



2021年度の売上高当たりのエネルギー消費量は0.77MWhとなり、2020年度と比較し、8%の減少となりました。企業として経済成長がエネルギー使用に及ぼす影響を最小化する取り組みを継続しています。

企業活動におけるカーボンフットプリント

(年度)

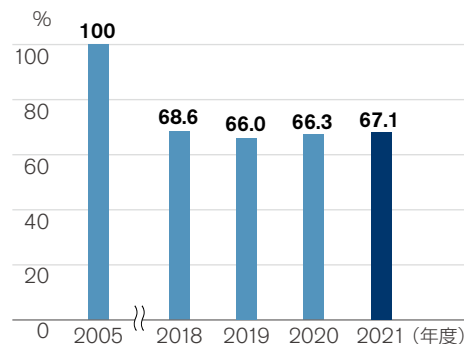
	単位	2017	2018	2019	2020	2021
スコープ1	t-CO ₂	912,476	889,444	774,163	754,453	697,851
スコープ2	t-CO ₂	2,394,109	2,339,883	2,105,700	1,631,551	1,541,276
スコープ1と2	t-CO ₂	3,306,584	3,229,327	2,879,864	2,386,004	2,239,127
日本	t-CO ₂	1,333,335	1,208,303	1,147,686	949,269	990,367
北米	t-CO ₂	683,332	738,234	648,754	529,044	507,584
欧州	t-CO ₂	228,998	221,692	163,553	156,442	112,157
その他	t-CO ₂	1,060,920	1,061,098	919,871	751,250	629,019
スコープ3	t-CO ₂	213,715,000	203,106,900	173,138,601	135,068,055	127,735,901

2021年度のグローバル拠点からのCO₂排出量は、スコープ1とスコープ2の合計で2,239千トンとなりました。生産過程におけるCO₂排出量は1,944千トン★(スコープ1排出量622千トン★、スコープ2排出量1,322千トン★)になりました。

★を付している開示情報について、KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P078](#)

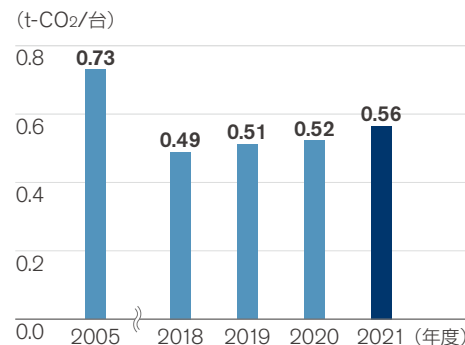
目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

企業活動からのCO₂排出量(グローバル販売台数当たり)



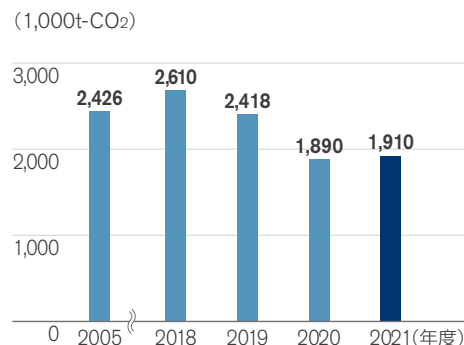
2021年度は、企業活動に伴うCO₂排出量が2005年度に比べ32.9%の削減となりました。

生産活動からのCO₂排出量(生産台数当たり)

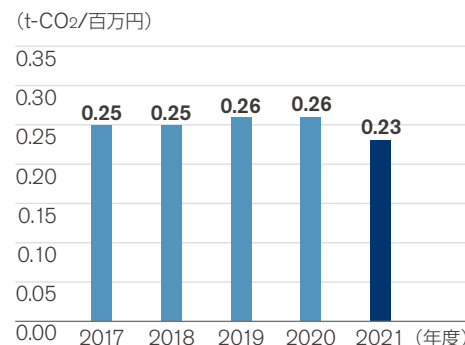


2021年度のグローバル生産台数当たりのCO₂排出量は0.56トンとなり、2005年度比で23.4%の削減率を達成しました。

生産活動におけるカーボンフットプリント



スコープ1と2のCO₂排出量(売上高当たり)



2021年度のグローバル拠点からの売上高100万円当たりのCO₂排出量は0.23トンとなりました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

輸送量

(年度)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
合計	百万ton-km	35,635	34,903	28,288	21,168	22,835
インバウンド*	百万ton-km	9,699	10,164	8,083	5,518	7,643
アウトバウンド*	百万ton-km	25,935	24,739	20,205	15,651	15,192

海上	%	57.6	60.9	63.8	60.2	61.7
トラック	%	25.9	23.3	23.0	25.0	24.1
鉄道	%	16.1	14.9	12.7	14.3	13.8
航空	%	0.4	0.9	0.6	0.5	0.4

* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送と返却容器の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2021年度はグローバル輸送量が前年比で8%増加し、228億トンキロとなりました。

物流からのCO₂排出量

(年度)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
合計	t-CO ₂	1,567,248	1,482,982	1,144,338	900,234	874,936
インバウンド*	t-CO ₂	739,610	762,314	582,957	397,822	366,190
アウトバウンド*	t-CO ₂	827,638	720,667	561,381	502,412	508,746

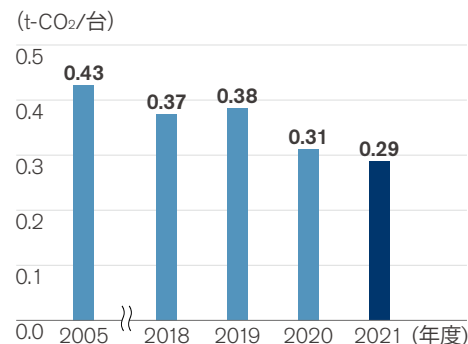
海上	%	20.0	19.9	21.1	19.9	20.8
トラック	%	64.6	60.3	64.1	66.2	65.6
鉄道	%	7.0	6.7	5.9	6.6	7.1
航空	%	8.4	13.1	8.9	7.3	6.5

* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送と返却容器の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2021年度の物流からのCO₂排出量は3%減少し、87万4,936トンとなりました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

物流からのCO₂排出量(輸送台数当たり)



2021年度は、輸送台数当たりのCO₂排出量は0.29トンとなりました。

カテゴリー別のスコープ3排出量

温室効果ガス(GHG)の報告に関するガイドラインに基づいた試算を行った結果、日産のスコープ3排出量の約90%は、製品であるクルマの使用によるものでした。

2021年の試算にあたり、スコープ3排出量の約8%のCO₂排出量を占める、購入した製品・サービスからの排出量について、使用原材料の実態により近い試算とすることを目的に、算定方法を更新*しました。

*算定方法の詳細は以下のページをご覧ください
[>>> P079](#)

項目	単位	2021
1.購入した製品・サービス	kt-CO ₂	10,002★
2.資本財	kt-CO ₂	848
3.燃料およびエネルギー関連活動	kt-CO ₂	247
4.輸送、配送(上流)	kt-CO ₂	366
5.事業から出る廃棄物	kt-CO ₂	118
6.出張	kt-CO ₂	19
7.雇用者の通勤	kt-CO ₂	163
8.リース資産(上流)	kt-CO ₂	0
9.輸送、配送(下流)	kt-CO ₂	525
10.販売した製品の加工	kt-CO ₂	6
11.販売した製品の使用	kt-CO ₂	114,854★
12.販売した製品の廃棄	kt-CO ₂	255
13.リース資産(下流)	kt-CO ₂	332
14.フランチャイズ	kt-CO ₂	0
15.投資	kt-CO ₂	0
合計	kt-CO ₂	127,736

★を付している開示情報について、KPMG あすさすサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P078](#)

カーボンクレジット

欧州における排出権取引において、日産モトール・イベリカ会社(スペイン：バルセロナ、カンタブリア)の生産拠点が対象となっています。2021年度に認証を受けたクレジット量は2万9,480トンとなりました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

大気品質

エミッション

2021年度に生産拠点から排出されたNOx、SOxの量は375トン、7トンになりました。

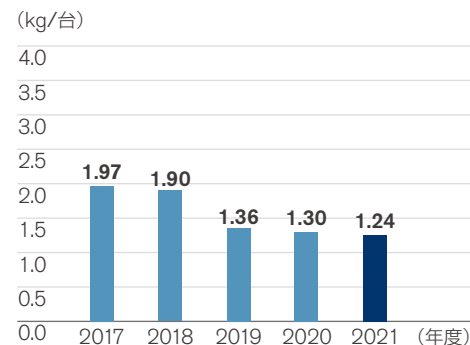
	単位	2017	2018	2019	2020	2021
窒素酸化物 (NOx)	ton	619	418	380	364	375
硫黄酸化物 (SOx)	ton	36	34	14	10	7

揮発性有機化合物(VOC)排出量

2021年度のVOC総排出量は4,218トンとなり、生産台数減のため2020年度より減少となりました。水系塗料、VOC含有率の低い物質への切り替えなどの活動は継続しています。

	単位	2017	2018	2019	2020	2021
合計	ton	10,564	8,433	6,465	4,742	4,218
日本	ton	3,232	2,188	2,016	1,420	1,362
北米	ton	4,284	3,847	3,135	2,294	2,362
欧州	ton	3,048	2,397	1,315	1,028	493

VOC排出量(グローバル生産台数当たり)



2021年度の生産台数当たりのVOC排出量は1.24kgとなりました。

	単位	2021
日本	kg/台	3.05
北米	kg/台	2.54
欧州	kg/台	1.79

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

PRTR対象物質排出量*(日本)

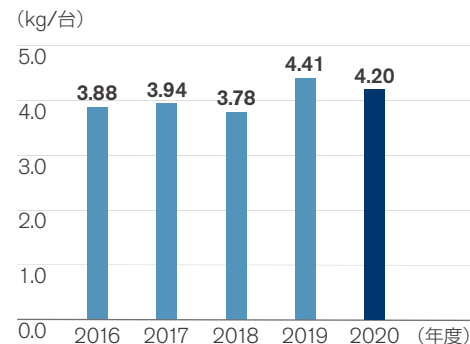
2020年度の化学物質排出移動量届出制度(PRTR: Pollutant Release and Transfer Register)対象物質の排出量は2,173トンで、2019年度に比べて減少となりました。

(年度)

	単位	2017	2018	2019	2020
国内拠点合計 *1	ton	3,887	3,406	3,339	2,173
追浜工場	ton	796	715	1,022	697
栃木工場	ton	920	655	467	394
日産自動車九州株式会社	ton	1,697	1,573	1,391	1,042
横浜工場 *1	ton	20	25	21	9
いわき工場	ton	62	54	62	6
日産テクニカルセンター	ton	388	378	351	3
座間工場	ton	4	7	26	22

* 日本のPRTR のガイドラインに基づいて算出。PRTR 取扱量から製造品としての搬出量を除いた総排出量

PRTR対象物質排出量(生産台数当たり/日本)

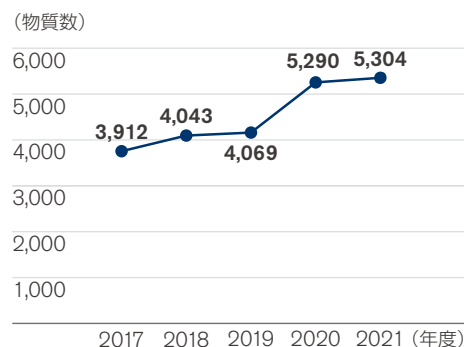


2020年度の生産台数当たりのPRTR対象物質排出量は4.20kgとなり、2019年度に比べ減少となりました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

資源依存(再利用)

化学物質の適正な利用



ルノーとの提携のもとハザードやリスクの選定基準を法令遵守以上のレベルで見直しを行っており、世界で検討が進んでいる物質も積極的に制限しています。その結果、2021年度の指定化学物質数は5,304へと増加しています。

これは将来のリペア、リユース、リビルト、リサイクルといった資源の循環に必要な取り組みと考えています。

* 化学物質のガバナンスに関する詳細は以下のページをご覧ください

[>>> P069](#)

クルマでの再生樹脂の利用

日産はクルマへの再生樹脂の使用拡大を技術開発も含め取り組んでいます。2021年度は、日産車1台に使用する樹脂のうち再生樹脂の割合は5%となりました。この実績は欧州における最量販車をもとに算出しています。

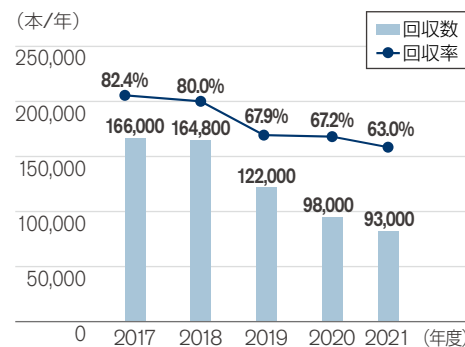
シュレッダーダストの最終処分率

日本の自動車リサイクル法に基づいてリサイクル率向上に取り組む拠点が増えた結果、使用済み自動車(ELV)より鉄類および非鉄金属を除いた自動車シュレッダーダスト(ASR)の最終処分率は、2021年度もゼロを達成しました。

材料比率

日産車に使用する材料は、重量比で鉄60%、非鉄14%、樹脂15%、その他12%(2021年実績)で構成されています。日産は、天然資源使用量をさらに低減するため、それぞれの材料に関し再生材の使用拡大に向けた取り組みを進めています。

バンパー回収本数推移



2021年度のバンパー回収本数は9万3,000本となり、回収率は4.2ポイント低下しました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

資源依存(拠点の廃棄物)

廃棄物発生量

2021年度にグローバルに発生した廃棄物の量は15万8,199トンとなり、2020年度の15万3,160トンより増加しました。2021年度に発生した生産工場の廃棄物の量は15万945トン★となりました。

★を付している開示情報について、KPMGあずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P078](#)

(年度)

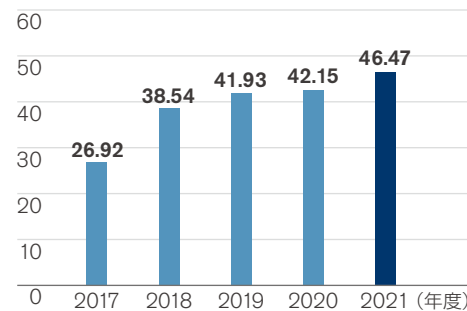
	単位	2017	2018	2019	2020	2021
合計	ton	152,674	206,645	199,470	153,160	158,199

地域別内訳						
	単位	2017	2018	2019	2020	2021
日本	ton	61,327	69,829	63,294	48,921	52,386
北米	ton	35,177	64,514	58,970	48,043	51,062
欧州	ton	45,268	49,662	50,205	31,868	33,895
その他	ton	10,903	22,639	27,001	24,328	20,857

処理方法別内訳						
	単位	2017	2018	2019	2020	2021
廃棄物最終処分量	ton	8,041	7,231	6,365	6,539	7,208
リサイクル量	ton	144,633	199,414	193,105	146,621	150,991

廃棄物発生量(生産台数当たり)

(kg/台)



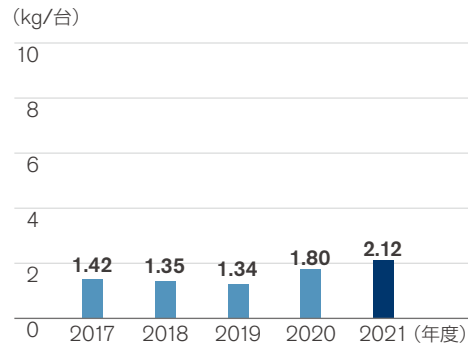
2021年度の生産台数当たりの廃棄物発生量は46.47kgに増加しました。

(年度)

地域別	単位	2020	2021
日本	kg/台	94.62	117.46
北米	kg/台	50.41	54.90
欧州	kg/台	94.85	122.81
その他	kg/台	13.31	11.91

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

廃棄物最終処分量(生産台数当たり)



2021年度の生産台数当たりの
廃棄物最終処分量は2.12kgとなり、
2020年度より増加しました。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

水資源の管理

企業活動での取水量

2021年度の企業活動における取水量は20,090千m³となり、2020年度より5.1%の減少となりました。2021年度の生産工場の取水量は、19,495千m³★でした。

★を付している開示情報について、KPMGあずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P078](#)

(年度)

	単位	2017	2018	2019*	2020	2021
合計	千m ³	26,197	26,420	23,656	21,159	20,090

日本	千m ³	13,115	13,022	11,918	10,797	10,317
北米	千m ³	4,905	4,930	4,768	3,888	4,047
欧州	千m ³	2,155	2,093	1,792	1,373	1,404
その他	千m ³	6,023	6,376	5,178	5,101	4,322

企業活動での排水量

2021年度の企業活動における排水量は1万3,986千m³となり、2020年度より2.7%の増加となりました。

(年度)

	単位	2017	2018	2019*	2020	2021
合計	千m ³	17,410	17,345	15,391	13,624	13,986

日本	千m ³	10,376	10,472	9,496	8,474	8,771
北米	千m ³	3,382	3,190	2,746	2,351	2,565
欧州	千m ³	1,564	1,539	1,389	1,094	1,073
その他	千m ³	2,088	2,143	1,760	1,705	1,577

水質

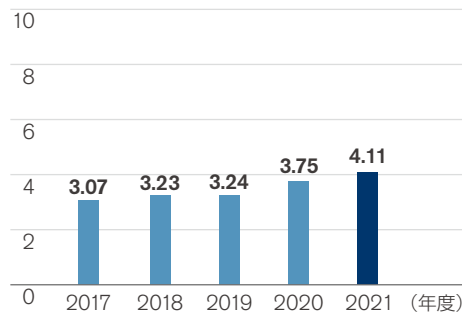
化学的酸素要求量 (COD) 日本のみ*	kg	28,791	25,965	22,269	18,017	19,941
----------------------	----	--------	--------	--------	--------	--------

* 算定方法を見直し、2017～2020年の数字を更新しています

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

企業活動での排水量(生産台数当たり)

(m³/台)



2021年度の生産台数当たりの排水量は4.11 m³となり、2020年度に比べて9.6%の増加となりました。

(年度)

地域別	単位	2020	2021
日本	m ³ /台	16.39	19.67
北米	m ³ /台	2.47	2.76
欧州	m ³ /台	3.26	3.89
その他	m ³ /台	0.93	0.90

日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、日本の数値が他の地域よりも高くなる場合があります。

企業活動での消費量

2021年度の企業活動における水の総消費量は6,103千m³*となり、2020年度より19.0%の減少となりました。

(年度)

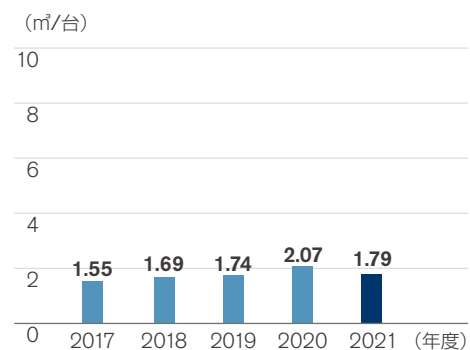
	単位	2017	2018	2019*	2020	2021
合計	千m ³	8,787	9,075	8,265	7,535	6,103

日本	千m ³	2,739	2,550	2,422	2,323	1,546
北米	千m ³	1,523	1,740	2,022	1,537	1,481
欧州	千m ³	591	554	403	279	331
その他	千m ³	3,935	4,233	3,418	3,396	2,745

* GRI303に基づいて算出。消費量は水の総取水量から総排水量を差し引いた量を示しています

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

企業活動での消費量(生産台数当たり)



2021年度の生産台数当たりの水の消費量は、1.79m³/台となり、2020年度より14%の減少となりました。

(年度)

地域別	単位	2020	2021
日本	m³/台	4.49	3.47
北米	m³/台	1.61	1.59
欧州	m³/台	0.83	1.20
その他	m³/台	1.86	1.57

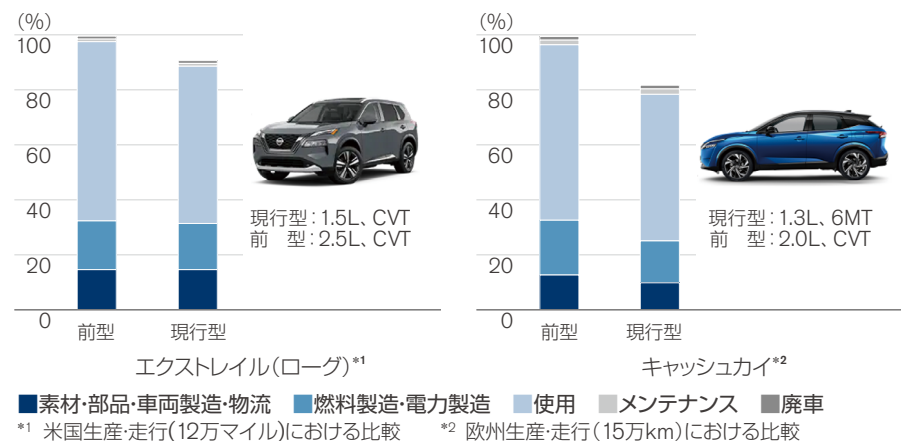
目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境課題を踏まえた事業基盤の強化

グローバルトップ販売モデルのLCA改善

日産はLCA手法の適用を進め、環境負荷の定量的な把握範囲を、影響の大きいグローバルのトップ販売モデルへと広げており、台数ベースでのカバレッジは、グローバルで約80%、欧州では約90%に達しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量(CO₂, CH₄, N₂O など)

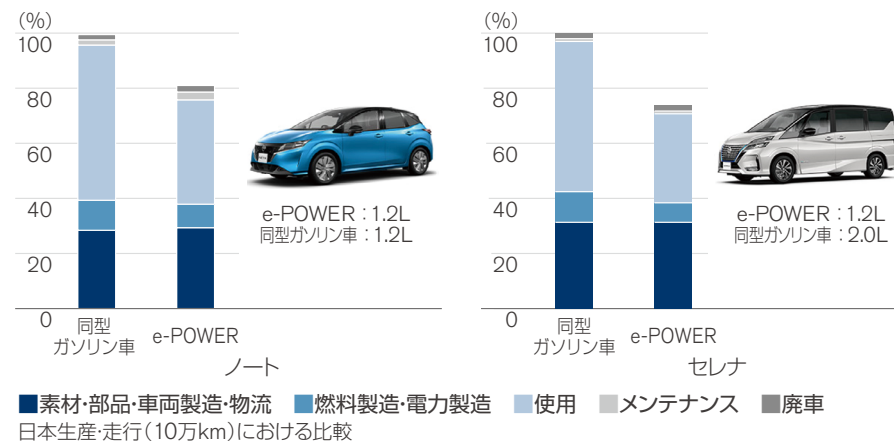


「e-POWER」におけるLCA比較

2016年に新パワートレインの「e-POWER」を投入し、ライフサイクルにおける環境負荷を低減しながら車両の電動化をさらに推進しています。

例えば、「ノート e-POWER」「セレナ e-POWER」では同型のガソリン車と比較して19%、27%のCO₂排出の削減を達成しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量(CO₂, CH₄, N₂Oなど)



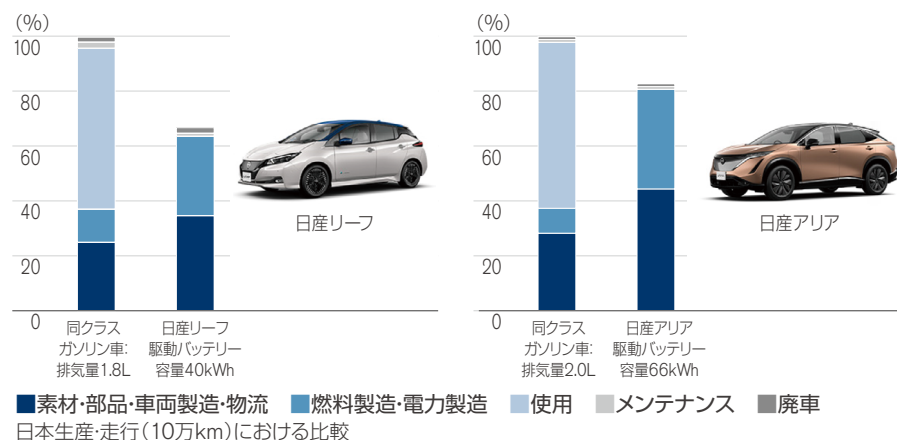
目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

「EV」におけるLCA比較

新型「日産リーフ」は日本の同型のガソリン車と比べ、ライフサイクルにおけるCO₂排出量を約32%削減しています。2022年発売の「日産アリア」は、EV商品力のさらなる向上と環境負荷低減を両立しています。航続距離を伸ばすと同時に、日本の同クラスガソリン車対比で、ライフサイクルCO₂排出量を約18%削減しました。

日産は、EVのライフサイクルにおける、さらなる環境負荷低減の可能性を追求していきます。

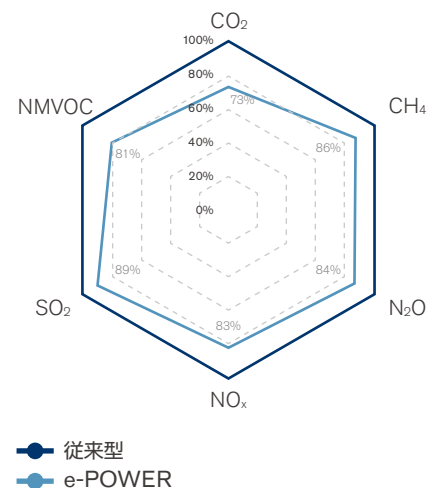
ライフサイクルでのCO₂等価排出量(CO₂、CH₄、N₂Oなど)



ライフサイクル評価における地球温暖化以外の貢献

大気汚染、海洋酸性化、富栄養化といった社会的懸念が高まることを背景に、日産はLCA評価のスコープを温室効果ガス以外の化学物質へと拡大しています。試算結果によると、新型「セレナ e-POWER」は現行のガソリンエンジン車と比較し、削減対象とする全化学物質において11~27%の排出量削減をライフサイクルで達成しており、総合的な環境貢献を示す結果を得ることができました。

新型「セレナ e-POWER」のライフサイクル評価



日本生産・走行(10万km)における比較

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

マテリアルバランス

投入量

(年度)

	単位	2020	2021
原材料	ton	4,665,300	3,758,427
エネルギー	MWh	7,655,514	7,495,492
うち再生可能エネルギー	MWh	246,998	289,067
水	千m ³	21,159	20,090

生産量／排出量

(年度)

	単位	2020	2021
車両生産			
グローバル生産台数	千台	3,634	3,404
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,567,819	2,239,127
排水量	千m ³	13,624	13,986
エミッション			
NO _x (窒素酸化物)	ton	364	375
SO _x (硫黄酸化物)	ton	10	7
VOC(揮発性有機化合物)	ton	4,742	4,218
廃棄物発生量			
リサイクル量	ton	146,621	150,991
廃棄物最終処分量	ton	6,539	7,208

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引			
会社基本情報	環境データ	社会性データ	ガバナンスデータ	編集方針	TCFD対照表	SASB対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境保全コスト

(年度)

	単位	2020		2021	
		投資	コスト	投資	コスト
総額	百万円	1,822	151,675	4,144	125,145
事業エリア内コスト	百万円	15	1,601	91	1,713
上・下流コスト	百万円	0	517	0	407
管理活動コスト	百万円	0	12,131	0	12,899
研究開発コスト	百万円	1,807	137,296	4,053	109,824
社会活動コスト	百万円	0	92	0	87
環境損傷対応コスト	百万円	0	39	0	215

(年度)

		2020	2021
総額	百万円	5,466	8,816
費用削減額	百万円	408	192
収益額	百万円	5,058	8,623

* 環境保全コストは環境省の「環境会計ガイドライン」に準じて算出され、日本国内の活動分のみを示しています